

# 「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」

## 第10回フォローアップ調査

国立大学協会では、大学の国際化とグローバル人材育成の推進を図るため、2020年までに国立大学が達成すべき数値目標を設定した「国立大学における教育の国際化の更なる推進について」（以下「教育の国際化目標」という。）を2013（平成25）年3月に取りまとめました。

この数値目標の達成状況を確認するためのフォローアップ調査を、2013（平成25）年度から実施しており、現在検討している次期計画の策定まで継続して実施することとしているところ、今回、第10回目のフォローアップ調査を実施いたしますので、ご多忙のところ大変恐縮ですが、本調査へのご協力をお願いいたします。

なお、本調査結果は、各大学へ情報提供させていただくとともに、当協会の委員会、文部科学省等への要請のための資料として使用することがありますので、あらかじめご了承ください。

（※各設問ごとに、「教育の国際化目標」の対応項目を記載しています。）

### ●回答方法

太枠の枠内に、ご入力ください。

ご入力いただく内容は、**2022（令和4）年11月1日現在**でお願いします。

ただし、**それ以外の時点で**、ご回答をお願いしているものもありますのでご注意ください。

〔 注意 シート・セルの変更は行わないでください。  
枠が小さい場合は文字サイズを小さくしてください。 〕

大学名

## 1 外国人留学生等について（「教育の国際化目標」4<達成目標>①⑤関係）

（1）貴大学の外国人留学生数をご入力ください。

ここでいう「外国人留学生」は、「出入国管理及び難民認定法」別表第1に定める「留学」の在留資格により、我が国の大学（大学院を含む）等において教育を受ける外国人学生を指します。

- ・非正規生（研究生等）も加えた数をご入力ください。
- ・未渡日の学生に関するカウントの基準については、日本学生支援機構が実施した「2022（令和4）年度留学生調査」の【1】2022（令和4）年度外国人留学生在籍状況調査における取扱いに準拠していただきますようお願いいたします。以下のURLの記入要領のP11をご覧ください。  
[https://www.studyinjapan.go.jp/ja/\\_mt/2022/07/youryo\\_daigaku2022.pdf](https://www.studyinjapan.go.jp/ja/_mt/2022/07/youryo_daigaku2022.pdf)
- ・2022（令和4）年11月1日の数値の入力が難しい場合は、国大協事務局までご連絡ください。

	2022（令和4）年 5月1日現在			2022（令和4）年 11月1日現在		
	外国人留 学生数	学生数（外 国人留学生 含む）	（%）	外国人留 学生数	学生数（外 国人留学生 含む）	（%）
学部						
大学院						
全体	0	0		0	0	

(2) 貴大学の短期教育プログラムによる外国人学生受入れ状況（人数）をご入力ください。

この質問は、日本学生支援機構が実施した「2022（令和4）年度留学生調査」の【5】2021（令和3）年度短期教育プログラムによる外国人学生受入れ状況調査に準拠しています。基準等は以下のURLの記入要領のP45をご覧ください。

[https://www.studyinjapan.go.jp/ja/\\_mt/2022/07/youryo\\_daigaku2022.pdf](https://www.studyinjapan.go.jp/ja/_mt/2022/07/youryo_daigaku2022.pdf)

・本調査は、2021（令和3）年4月1日～2022（令和4）年3月31日に実施した、6か月未満の学位取得を目的としない短期教育プログラム等による外国人学生の受入れ状況（人数）について調査するものです。

	2週間未満	2週間以上 1か月未満	1か月以上 3か月未満	3か月以上 6か月未満	
学部					(人数)
大学院					(人数)
実施レベルを 判断できない					(人数)
全体	0	0	0	0	

## 2 日本人学生の海外留学について（「教育の国際化目標」4<達成目標>②⑤関係）

(1) 貴大学の日本人学生の海外留学者数をご入力ください。

この質問は、日本学生支援機構が実施した「2022（令和4）年度留学生調査」の【3】2021（令和3）年度日本人学生留学状況調査に準拠しています。以下のURLの記入要領のP35をご覧ください。

[https://www.studyinjapan.go.jp/ja/\\_mt/2022/07/youryo\\_daigaku2022.pdf](https://www.studyinjapan.go.jp/ja/_mt/2022/07/youryo_daigaku2022.pdf)

- 対象期間は、2021（令和3）年4月1日～2022（令和4）年3月31日に留学を開始したものです。
- 対象は、日本人学生です。科目等履修生等、非正規の日本人学生も含まれます。
- 「協定等に基づかない」留学についても、貴大学が把握している日本人学生について、記入をお願いします。

	2週間未満	2週間以上1か月未満	1か月以上3か月未満	3か月以上6か月未満	6か月以上1年未満	1年以上1年6か月未満	1年6か月以上2年未満	2年以上3年未満	3年以上	不明
	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数	人数
学部										
大学院										
全体	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

## 3 外国人教員について（「教育の国際化目標」4<達成目標>③⑤関係）

(1) 貴大学の外国人教員数をご入力ください。

ここでいう、「本務者」と「兼務者」の区別は、学校基本調査の定義を引用しています。非常勤講師として発令されている方は兼務者とします。また、本務・兼務の区別は、原則として辞令面によります。辞令面で区別できない場合は、俸給を支給されている方を本務とし、それ以外は兼務とします。

※2022（令和4）年11月1日の数値の入力が難しい場合は、国大協事務局までご連絡ください。

	2022（令和4）年 5月1日現在			2022（令和4）年 11月1日現在		
	外国人 教員数	教員数 (外国人 教員含 む)	(%)	外国人 教員数	教員数 (外国人 教員含 む)	(%)
本務者						
兼務者						

#### 4 英語での授業実施科目について（「教育の国際化目標」4<達成目標>④関係）

（1）英語による授業実施科目数をご入力ください。

英語による授業科目数の数え方について

○全ての授業を英語により実施している場合、これを1つの「授業科目」としてカウントします。

○語学としての授業科目は除きます。

○同一授業科目を複数セッション開講している場合、複数授業科目としてカウントします。

【例】

○「統計熱力学」を開講。15回の授業のうち、2回を海外からのゲスト教員により、英語で授業を行った場合は、全てを英語で授業していないため、カウントしない。

○「量子力学Ⅰ」を6セッション開講、うち2セッションは英語、4セッションは日本語で実施した場合、2授業科目としてカウント。

学部	<input type="text"/>	授業科目
大学院	<input type="text"/>	授業科目

#### 5 その他

（1）英語による授業のみで学位が取得できるコース等の設置

（「教育の国際化目標」4<達成目標>①④、5【4】関係）

※一部で実施している場合を含みます。

①留学生のみに限定されているコース等の設置

1 設置している      2 設置していない

学部	<input type="text"/>
大学院	<input type="text"/>

②留学生のみに限定されていないコース等の設置

1 設置している      2 設置していない

学部	<input type="text"/>
大学院	<input type="text"/>

（2）外国人学生向けの特別なプログラム等の設置（外国人学生向け）

（「教育の国際化目標」4<達成目標>①④、5【2】【4】関係）

1 設置している      2 設置していない

期間	1か月未満		1か月以上 6か月未満		6か月以上	
	日本語	英語	日本語	英語	日本語	英語
主な 使用言語						
学部	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>
大学院	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>	<input type="text"/>

【参考】世界に対して、広く募集している短期留学プログラム等の設置

1 設置している      2 設置していない

学部	<input type="text"/>
大学院	<input type="text"/>

※募集の対象を協定校や交流実績のある大学に絞ったり、教職員の国際的なネットワークによる募集ではなく、例えばHP等で応募者を広く世界から募っているプログラム

(3) 4月以外の入学時期の導入（例えば、秋入学など。一部で実施している場合を含む）

（「教育の国際化目標」4<達成目標>①、5【2】【4】関係）

1導入している      2導入する予定      3導入していない

学部

	( 年 )
	( 年 )

大学院

※「2」を選択した場合は、カッコ内に開始予定の年度と時期をご記入ください。

（回答例：2023年秋）

(4) -① 4学期制の導入（一部で実施している場合を含む）

（「教育の国際化目標」4<達成目標>②、5【2】【5】関係）

1導入している      2導入する予定      3導入していない

学部

	( 年 )
	( 年 )

大学院

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をご記入ください。

（回答例：2023年秋）

(4) -② 柔軟な学事暦の導入（(4) -①を除く。一部で実施している場合を含む。）

（「教育の国際化目標」4<達成目標>②、5【2】【5】関係）

1導入している      2導入する予定      3導入していない

学部

	( 年 )
	( 年 )

大学院

※「2」を選択した場合は、右記カッコ内に予定の年度と時期をご記入ください。

（回答例：2023年秋）

※「1」又は「2」を選択した場合は、下記カッコ内に具体的な内容をご記入ください。

--

(5) ダブルディグリープログラムの実施（一部で実施している場合を含む）

（「教育の国際化目標」4<達成目標>①②④、5【2】【4】【5】関係）

1実施している      2実施する予定      3実施していない

学部

	( 年 )
	( 年 )

大学院

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2023年秋）

(6) ジョイントディグリープログラムの実施（一部で実施予定である場合を含む）

（「教育の国際化目標」4<達成目標>①②④、5【2】【4】【5】関係）

1実施している      2実施する予定      3実施予定はない

学部

	( 年 )
	( 年 )

大学院

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2023年秋）

(7) 国際バカロレア入試の導入（一部で実施している場合を含む）

（「教育の国際化目標」4<達成目標>①、5【2】関係）

1導入している      2導入する予定      3導入していない

	( 年 )
--	-------

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2023年秋）

(8) 留学生宿舎の整備（「教育の国際化目標」4<達成目標>①、5【4】関係）

① 貴大学の所有宿舎（国際交流会館等）

1整備している      2整備する予定      3整備していない

（年）

※「1」又は「2」を選択した場合は、宿舎の整備戸数（室数）をお知らせください。

戸数（室数）

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2023年秋）

② URや民間企業等との法人契約による宿舎の借上げ

1整備している      2整備する予定      3整備していない

（年）

※「1」又は「2」を選択した場合は、宿舎の整備戸数（室数）をお知らせください。

戸数（室数）

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2023年秋）

③ 自治体、民間企業等所有留学生宿舎で貴大学学生用の専用居室の割当て

1整備している      2整備する予定      3整備していない

（年）

※「1」又は「2」を選択した場合は、宿舎の整備戸数（室数）をお知らせください。

戸数（室数）

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2023年秋）

(9) 寄附等による大学独自の奨学金制度の導入

① 外国人留学生向け奨学金制度の導入（「教育の国際化目標」4<達成目標>①、5【4】）

1導入している      2導入する予定      3導入していない

（年）

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2023年秋）

② 日本人学生向け海外留学奨学金制度の導入（「教育の国際化目標」4<達成目標>②、5【5】）

1導入している      2導入する予定      3導入していない

（年）

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2023年秋）

(10) 留学先大学で履修した科目に関する貴大学での単位認定の実施

（「教育の国際化目標」4<達成目標>②、5【2】【5】）

1実施している      2実施する予定      3実施していない

（年）

※「2」を選択した場合は、カッコ内に予定の年度と時期をお知らせください。

（回答例：2023年秋）

(11) 大学として支援している、留学生の在留管理に係る手続き（証明書の発行等）について

①入学時～卒業後（就職活動含む）における手続きについて、対応に苦慮していること等がありましたらご入力ください。（自由記述）

②国等に要望したいことがあればご入力ください。（自由記述）

## 6 自由記述（コロナ禍での経験を踏まえた外国人留学生受入れ・日本人留学生派遣に係る新たな取組）

コロナ禍の発生以降、入国・渡航制限を始めとした制約への対応として、国際交流（受入れ・派遣）の再開・継続のために各大学において様々な対策を講じられてきたと存じます。それらの経験を踏まえ、今後活かすことができる取組の例がありましたら、自由記述形式でご回答お願いいたします。本設問は、今後の更なる国際化の推進に向け、コロナ以降の好事例を収集し活用させていただくことを目的としています。

※取組の開始時期がお分かりの場合、併せてご記載ください。

※複数の取組がある場合は、箇条書きをする等、テーマごとに分けて記載してください。

※大学名と併せての公開が差し支えある場合、右欄で「不可」を選択してください。

(1) 外国人留学生受入れに係る取組
(2) 日本人留学生派遣に係る取組

ご担当者名（フリガナ）

ご担当部署名

電話番号

E-mail

ご協力ありがとうございました。

【回答方法】 Excelファイルのまま、メールにて返信をお願いします。

【回答先】 国立大学協会 企画部 曾我、楠、宮下、眞栄城

jacuie@janu.jp

【回答期限】 2022（令和4）年 12月21日（水）12時